

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
義肢装具学		必修	2	3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
向山 秀 他	C311	suguru.mukaiyama	木曜日 10:40~12:10		
授業の目的・概要	四肢の切断に対する義肢や装具に関する基礎的な知識(定義・分類・適応・適合判定など)を学ぶ。実際の義肢装具を提示して学習を進め、義肢装具に関わる作業療法士の役割を確認する。また、臨床で活躍している作業療法士から遠隔授業にて義肢に関する実践事例を学ぶ。最終回では、実際にカックアップスプリントを製作する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input checked="" type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	切断、神経障害、骨折など臨床医学的な観点から解剖学や運動学を活用する。解剖学や運動学などの基礎医学、整形外科学などの臨床医学の復習をして受講すること。				
教科書	特になし				
参考書	作業療法全書 改訂第3版 第9巻 作業療法技術学 1 義肢装具学/著:古川 宏 他/編:古川 宏(日本作業療法士会:監修)/協同医書出版社 リハビリテーション義肢装具学/編:清水 順一、青木 主税/メディカルビュー 手のスプリントのすべて(第4版)/著:矢崎 潔/三輪書店 義肢装具と作業療法 評価から実践まで/編著:大庭 潤平 他/医歯薬出版 PT/OT ビジュアルテキスト 義肢・装具学 異常とその対応が分かる動画付き 第1版/監修:高田 治実/羊土社				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	義肢と装具について簡潔に説明できる。			OT(2)	
②	義肢や装具を使用する方々の心理と生活を理解できる。			OT(2)	
③	義肢の種類、構成部品、目的、対象となる疾患と障害を説明できる。			OT(2)	
④	装具やスプリントの種類、目的、対象となる疾患と障害を説明できる。			OT(2)	
⑤	義肢・装具・スプリントに関わる作業療法士の役割を説明できる。			OT(1)、(3)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	義肢・装具の定義、義肢装具使用者に対する作業療法の理念について学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
2	義肢総論(切断について)、義手の分類と用途、義足の分類とソケットの比較について学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
3	義手の構成要素について学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
4	義手訓練、前腕義手のチェックアウトについて学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
5	上腕義手のチェックアウト、仮義手の作成と評価、仮義手訓練について学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
6	下肢・体幹・上肢装具の総論(用途)について学習する	[担当] 福田 京佑	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
7	上肢装具の分類について学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
8	上肢装具の疾患適応例	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
9	上肢装具・スプリントの製作について学習する	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
10	上肢義肢装具のまとめ	[担当] 向山 秀	対面授業	配布資料で予習・復習する。	
11	カックアップスプリントの製作・修正	[担当] 向山 秀	演習・実習	カックアップスプリントについて復習する。	
12	カックアップスプリントの製作・修正	[担当] 向山 秀	演習・実習	カックアップスプリントについて復習する。	
13	筋電義手の構成・評価・訓練について学習する	[担当] 野口 智子	同時双方向型授業	配布資料で予習・復習する。	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 作業療法学コース/作業療学科】

14	義手訓練の実践、小児切断について学習する	[担当] 野口 智子	同時双方向型授業	配布資料で予習・復習する。
15	義肢のまとめ	[担当] 野口 智子	同時双方向型授業	配布資料で復習
試	筆記試験			

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100					
総合力指標	知識・技術力	50					50
	思考・推論・創造する力	30					30
	協調性・リーダーシップ						
	発表・表現伝達する力						
	コミュニケーション力						
	取組みの姿勢・意欲						
	問題を発見・解決する力	20					20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①	✓	学期末に筆記試験を実施して評価する。試験は、講義で学んだ教科書・配布資料・板書ノートの内容に基づく問題および応用問題を出題し、理解度を問う。	研究室にて試験結果を個別に開示し、解説を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	福田 京佑、野口 智子 (非常勤講師)
教員の実務経験	本科目の担当教員は、作業療法士として5年以上の臨床経験を有する。
実践的授業の内容	テキストと併せて臨床における治療で得た知見に基づき作業療法に必要な基本的実技・知識を教授する。
そ の 他	第13~15回はTeamsを使った同時双方向型授業を行う。(この第13~15回に関しては土曜日もしくは日曜日に集中的に講義を実施する)他は対面授業にて実施するが手指の消毒の準備や適宜換気などを行い感染対策に努める。同時双方向型授業時は通信容量が無制限のインターネット環境を推奨する。課題や資料のダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限のある場合は通信量に十分に注意すること。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更の可能性はある。